











翻訳資料

# 反乱と弾圧 資本主義の

## 長く暑い夏が始まる

(下) 社会主義解放党 (PSL)

### 革命といつものではない

革命とは混沌としたものである。革命は平時ではなく、危機から生まれる。革命は出来事の渦巻くような速度、相対立する情報の錯綜、秩序の崩壊、政治的忠誠心の再編成、そして初めて自分たちの力を感じた人々による新たな社会的力の爆発の中でなされる。多くの異なる側がそれぞれ、新しいレトリックと戦術を採用し、新たな同盟を打ち立て、策略のためのエージェントを配置して、自分たちが望む方向に向けて物事を進めようとして、より大きな動乱の中に自らを刻印をしようとする。これが現実世界の中で、革命の姿だ。革命運動が完全にできあがった姿で現れ、そのプロセスがはつきり【翻訳にあたって】

前回(戦旗一五七二号)は、『反乱と弾圧 資本主義の長く暑い夏が始まる』と題する社会主義解放党の声明(六月一日付け)の前半部を紹介した。今回はその声明の後半部を紹介する。

五月一日に発生した白人男性ジョージ・フロイドさんの殺害事件は同じように警官による一斉の抗議の決起として瞬く間に米国全土に拡大した。それが労働者人民による一斉の抗議の決起として瞬く間に米国全土に拡大した。その闘いは、世界各地で共感と連帯行動を呼び起こすとともに、約二ヶ月が経過した現在も持続しており、殺害事件を引き起こしたミネアポリス警察の「解体」の決定、白人中心の歴史観の見直しなど、様々な変革とともに進んで進行している。

今回紹介する声明の後半部では、急速に展開する反ディカルな抗議行動の渦中に、革命をめざす米国内の共産主義者が事態とその背景をどのように捉え、行動すべきなのが論じられている。



6月19日ニューヨークの集会

うレトリックは、それ自体が、街頭で何が起こっているのかについての混乱と疑念を生み出すのに役立つ。それは、街頭に立つ人々の動機に対する冷笑主義を呼び起こし、不吉な力が働いているという恐怖をつくりだすことを意味している。彼らは街頭の人々に、りと区別された二つの側だ。——善人が片方の側に並び、もう片方の側に悪人が片方の側に悪人が勝つままで鬪われるといったように——を期待するのは漫画的な政治見解である。

革命政治の技術とは、出来事の先を行くこと、次に何が起こるかを予測すること、この混乱の中から最も

抗して、共に立ち上がり、デモ行進を行い、行動を起こす力。武力弾圧に直面した時に互いに同志として支え合う連帯感。自分のすぐそばにいる人の勇気を感じることが可能である。それが、新たな同盟を打ち立て、策略のためのエージェントを配置して、自分たちが望む方向に向けて物事を進めようとして、より大きな動乱の中に自らを刻印をしようとする。これが現実世界の中で、革命の姿だ。革命運動が完全にできあがった姿で現れ、そのプロセスがはつきり【翻訳にあたって】

前回(戦旗一五七二号)は、『反乱と弾圧 資本主義の長く暑い夏が始まる』と題する社会主義解放党の声明(六月一日付け)の前半部を紹介した。今回はその声明の後半部を紹介する。

五月一日に発生した白人男性ジョージ・フロイドさんの殺害事件は同じように警官による一斉の抗議の決起として瞬く間に米国全土に拡大した。その闘いは、世界各地で共感と連帯行動を呼び起こすとともに、約二ヶ月が経過した現在も持続しており、殺害事件を引き起こしたミネアポリス警察の「解体」の決定、白人中心の歴史観の見直しなど、様々な変革とともに進んで進行している。

今回紹介する声明の後半部では、急速に展開する反ディカルな抗議行動の渦中に、革命をめざす米国内の共産主義者が事態とその背景をどのように捉え、行動すべきなのが論じられている。

## 深刻な原因

### 現在の危機の

工作員を街頭に送り込んでいることは間違いない。われわれは、その周辺にすべての矛盾と粗さを抱えることは間違いない。

われわれは、その周辺にすべての矛盾と粗さを抱えることは間違いない。工作員を街頭に送り込んでいることは間違いない。

## 共産主義者同盟(統一委員会)

### 綱領・規約集

結成大会宣言

綱領

戦術・組織マニュアル

規約

定価 一部 500 円

発行 戰旗社

うレトリックは、それ自体が、街頭で何が起こっているのかについての混乱と疑念を生み出すのに役立つ。それは、街頭に立つ人々の動機に対する冷笑主義を呼び起こし、不吉な力が働いているという恐怖をつくりだすことを意味している。彼らは街頭の人々に、りと区別された二つの側だ。——善人が片方の側に並び、もう片方の側に悪人が片方の側に悪人が勝つままで鬪われるといったように——を期待するのは漫画的な政治見解である。

革命政治の技術とは、出来事の先を行くこと、次に何が起こるかを予測すること、この混乱の中から最も抗して、共に立ち上がり、デモ行進を行い、行動を起こす力。武力弾圧に直面した時に互いに同志として支え合う連帯感。自分のすぐそばにいる人の勇気を感じることが可能である。それが、新たな同盟を打ち立て、策略のためのエージェントを配置して、自分たちが望む方向に向けて物事を進めようとして、より大きな動乱の中に自らを刻印をしようとする。これが現実世界の中で、革命の姿だ。革命運動が完全にできあがった姿で現れ、そのプロセスがはつきり【翻訳にあたって】

前回(戦旗一五七二号)は、『反乱と弾圧 資本主義の長く暑い夏が始まる』と題する社会主義解放党の声明(六月一日付け)の前半部を紹介した。今回はその声明の後半部を紹介する。

五月一日に発生した白人男性ジョージ・フロイドさんの殺害事件は同じように警官による一斉の抗議の決起として瞬く間に米国全土に拡大した。その闘いは、世界各地で共感と連帯行動を呼び起こすとともに、約二ヶ月が経過した現在も持続しており、殺害事件を引き起こしたミネアポリス警察の「解体」の決定、白人中心の歴史観の見直しなど、様々な変革とともに進んで進行している。

今回紹介する声明の後半部では、急速に展開する反ディカルな抗議行動の渦中に、革命をめざす米国内の共産主義者が事態とその背景をどのように捉え、行動すべきなのが論じられている。